

## 香川県立小豆島みんなの支援学校の校章、校訓を決定しました 校章デザイン最優秀賞受賞表彰式を8月31日に行います

令和5年4月に小豆地域に開校する「香川県立小豆島みんなの支援学校」の校章、校訓を決定しました。豊かな自然に恵まれた小豆島で、子どもたちが自分らしくのびのびと学び、地域に親しまれる学校をめざしている小豆島みんなの支援学校にふさわしい校章、校訓です。

校章デザイン最優秀賞受賞表彰式を、教育長定例記者会見(8月31日(水))後、開催します。(別添参照)

### 【校章】



校章は、学校のシンボルとしてふさわしい校章デザインを公募したところ全国より459点の応募があり、その中から、小豆島みんなの支援学校校章選考委員会において厳正に審査を行い、決定しました。また優秀賞2点、特別賞10点も決定しました。(詳細は、資料参照)

### 【校訓】 「なかよく のびのび かがやくこ」

校訓は、小豆島みんなの支援学校のめざす学校像を表し、地域と共に、子どもたちも学校も「なかよく のびのび かがやいていく」という願いを込めています。

#### <校訓に込めた願い>

「なかよく」…子どもたちが、多くの友達や地域の方々とつながり、かかわり合いながら成長してほしい。

「のびのび」…子どもたちが、笑顔いっぱい、主体的にのびのびと学んでほしい。

「かがやくこ (子・個・拠)」…子ども一人一人が、自己肯定感を育み、個性を伸ばし、自分らしく輝いてほしい。小豆島みんなの支援学校も、小豆地域の特別支援教育の拠点として輝きたい。

#### <小豆島みんなの支援学校 めざす学校像>

- 子ども一人一人が、自分らしくのびのびと学べる学校
- 地域にしっかりと根ざし、地域とともに子どもを育てる学校
- 専門性を発揮し、小豆地域の特別支援教育の拠点となる学校

香川県立小豆島みんなの支援学校校章デザイン



**【デザインの説明】**

真ん中のオブジェクトは、右側が小豆島の「小」、全体でみんなの「み」という文字で構成されている。周りには、小豆島のオリーブのリースと熟した実を配し、学校や地域の人達との繋がり子ども達の成長を表した。

また、リースの一部分を開けることで、枠にとどまらず、のびのびと自分らしく学ぶことのできる学校像を表現した。

香川県立高等技術学校デザイン科在籍の神宮 千里(かみみや ちさと)氏がデザインした。

【香川県立小豆島みんなの支援学校 校章デザイン入賞作品】

	デザイン	デザインの説明	受賞者氏名等
最優秀賞		<p>真ん中のオブジェクトは、右側が小豆島の「小」、全体でみんなの「み」という文字で構成されている。周りには、小豆島のオリーブのリースと熟した実を配し、学校や地域の人達との繋がりと子ども達の成長を表した。また、リースの一部を開けることで、枠にとどまらず、のびのびと自分らしく学ぶことのできる学校像を表現した。</p>	<p>かみみや ちさと 神宮 千里</p> <p>(香川県立高等技術学校)</p>

	デザイン	デザインの説明	受賞者氏名等
優秀賞		<p>のびのびと育つ子どもを囲むように2本のオリーブの枝を配置し、学校と地域が手を携えて子どもたちを支援育ててゆく基本理念を図案化した。オリーブは小豆島を表し、校名との関連性をイメージできるようにした。児童生徒や地域の方々にも親しまれるよう、シンプルで覚えやすい形状とし、様々な用途で使用しやすいデザインとした。</p>	<p>これさわ よしたか 是澤 義隆</p> <p>(岡山県)</p>
優秀賞		<p>小豆島を象徴するオリーブと豊かな自然の中で個性豊かに大空を羽ばたく鳩をイメージし、また、中央にみんなの支援学校の頭文字「み」を組み入れ、親しみやすく表現した。</p>	<p>くさの けいいち 草野 敬一</p> <p>(長崎県)</p>

## 【校章デザイン特別賞 受賞作品（10作品）】

（※五十音順）

	デザイン	デザインの説明	受賞者氏名等
1		<p>周りは小豆島の名産物オリーブにした。真ん中の小豆島の字の周りのSは手の形にした。その手の意味は、「助け合い」「仲良く」「みんなで」の意味を込めた。</p> <p>Sは小豆島のS。</p>	<p>いしかわ きゆう 石川 稀悠</p> <p>（土庄町立土庄小学校5年）</p>
2		<p>みんなが輪になって1つのイメージにしたかったので、円を多く取り入れた。小豆島の「小」の文字も取り入れ、オリーブのイメージである緑をメインにした。</p>	<p>うえた なる 植田 奈留</p> <p>（東かがわ市立白鳥中学校3年）</p>
3		<p>オリーブが集まって支えあっているようなイメージで作成した。オリーブの葉の色が違うのは、お互いの個性を認め合っていることを表現した。</p>	<p>うしけ ことは 氏家 琴巴</p> <p>（高松市立古高松中学校1年）</p>
4		<p>小豆島の特産であり、シンボルでもあるオリーブと仲良く両手を上げる二人の子どもの姿を描いた。その上に希望の象徴の虹を配し、周囲に5人の子どもが手をつなぎ合うことにより、5弁の花が開花している様子を図案化した。子どもたちが地域の中で共に支えあい、夢と希望に向かって力強く歩んでいってほしいという思いを込めた。</p>	<p>きのだ ひろひこ 木野田 博彦</p> <p>（埼玉県）</p>

5		<p>花をイメージして描きました。 小豆島の小とオリーブの実と葉っぱを描きました。元気がいいイメージ。</p>	<p>きむら なお 木村 巨</p> <p>(小豆島町立池田小学校3年)</p>
6		<p>小豆とオリーブの実のフォルムを基本とし、地域の自然と人たちに触れ合い、のびのびと育てゆく子供たちの姿を花の開花、蝶の羽ばたきに象徴し、未来に向かって健やかに成長する様を表現した。</p>	<p>たかはし かずお 高橋 一夫</p> <p>(香川県)</p>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小豆島といえば、サルが有名。</li> <li>・鼻の「S」は、小豆島の頭文字。</li> <li>・おでこの「M」は「みんな」の頭文字。</li> <li>・サルの下に植物はオリーブ。</li> </ul>	<p>はちすか げんき 蜂須賀 元気</p> <p>(香川県立香川東部養護学校) (高等部2年)</p>
8		<p>島の緑青い空、青い海、オリーブをイメージした。地域の方々を輪で表し、誰もが分かるように「みんな」という文字を入れて校章を表現した。</p>	<p>ふじもと りおん 藤本 凜音</p> <p>(坂出第一高等学校2年)</p>

9		<p>小豆島に新しくできる学校の校章デザインということで一番に思いついたのは、オリーブの木。そのオリーブの実が学校に通ってくる児童生徒さんをイメージして描いた。</p>	<p>むらい はるき 村井 暖基</p> <p>(香川県立善通寺養護学校) (中学部1年)</p>
10		<p>小豆島で有名なオリーブを取り入れた。左右対称の図案にし、心地良いデザインに仕上げた。また、緑色を使用し自然を感じ、なおかつ平和でありますようにと願いを込めた。中心にある「支」という字が笑顔に見えるようにした。小豆島みんなの支援学校に笑顔があふれるようにという思いがある。</p>	<p>やまがみ 山上 ほのか</p> <p>(香川県立高松工芸高等学校) (デザイン科3年)</p>

以上10作品

## 香川県立小豆島みんなの支援学校 校章デザイン最優秀賞表彰式

令和5年4月に開校する「香川県立小豆島みんなの支援学校」の校章デザインを公募したところ、全国から459点の応募があり、その中から、小豆島みんなの支援学校校章選考委員会において厳正に審査を行い、各賞（資料参照）を決定しました。そこで、校章デザイン最優秀賞表彰式を下記により行います。

- 1 日 時 令和4年8月31日（水）教育長定例記者会見後
- 2 場 所 香川県教育委員会 教育長室(高松市天神前6番1号 天神前分庁舎6階)
- 3 参加者 小豆島みんなの支援学校 校章デザイン最優秀賞受賞者  
神宮 千里氏  
  
香川県教育委員会  
教育長 工代 祐司
- 4 概 要 校章デザイン最優秀賞受賞 表彰（賞状及び副賞5万円の贈呈）